

心理学・教育学委員会分科会の設置について

分科会等名：      高校教育改革検討分科会     

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	心理学・教育学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>21世紀の急激な社会変動に対応した高校教育のあり方に関する政策提言を準備することを目的とする分科会である。今日の高校教育は、知識基盤社会と生涯学習社会への対応をおろそかにしたため、普通教育においても職業教育においても時代の変化に対応した質の高い教育を保証するものとはなりえていない。その結果、大学関係者からは高校生の学力低下が問題とされ、一般社会、企業社会からは未就職者の増加が問題にされ、中退者の増加も問題にされている。高等教育の再編と若年労働市場の変化に対応して、旧来の普通科、専門学科、総合学科の区別と役割、全日制、定時制、通信制の区別と役割および入試制度など、制度的に検討すべき問題が山積している。</p> <p>さらに高校の教育内容と授業と学習および教師の研修の質保証については、これまで文部科学省においても都道府県教育委員会においても十分な政策と施策を施してきたとは言いがたい。</p> <p>本分科会は、これら高校教育の質保証を実現する改革の基本問題について審議し、教育学の専門的知見を結集して政策提言を準備したい。</p>
4	審議事項	<p>1. 高校教育の質の向上をはかる改革のあり方</p> <p>2. 知識基盤社会、生涯学習社会に対応した高校の理念、教育内容、制度に係る審議に関する事</p>
5	設置期間	<p>時限設置      年    月    日～      年    月    日</p> <p>常設</p>
6	備考	必要により特任連携会員を依頼する。